



すこやか

なるせ保育園
保健だより
R6.7.1(月)
NO.6

梅雨に入りジメジメした毎日になりました。子ども達も汗をかきながら遊んでいたりと汗で下着が濡れていたりとしている中で、こまめな水分補給や着替えの声掛け、空調を上手く利用して快適な環境を心掛けています。空模様は曇りや雨でも高湿度が体に大きな負担となり熱中症のリスクが高まるので注意が必要です。こまめな水分補給とバランスのよい食事、十分な休養をとりながら熱中症予防に努めていきたいと思っています。今後もご家庭の皆様と連携を取りながら、これからやってくる本格的な夏も健康に過ごせるように健康管理に気を配っていきたくと思っていますので、皆様のご協力をよろしくお願いいたします。



「溶連菌感染症」と診断されたお子さんが湯沢管内で増加傾向にあります

2～5日ほどの潜伏期を経た後の溶連菌の初期症状は、**38～39℃以上の突然の発熱やのどの痛み（急性咽頭炎や扁桃炎）が中心**です。また扁桃腺には白苔を伴うことも多くみられます。その後、身体や手足に粟粒大の赤い発疹や、舌に赤いつぶつぶができる「いちご舌」があらわれる猩紅熱（しょうこうねつ）と呼ばれる症状があらわれることもあります。頭痛や腹痛、おう吐、首筋のリンパ節が腫れるなどの症状もみられる場合がありますが、一般的な風邪と違い、咳や鼻水の症状は出ないことが特徴です。気になる症状が見られた際には早めの病院受診をお願いいたします。

爪の長い子はいませんか？

- ◆爪が長いと爪と指の間にバイ菌が繁殖し不衛生になり、病気を引き起こす原因にもなりかねません。
- ◆赤ちゃんは爪で顔に傷をつけてしまうことも度々あります。
- ◆友達を引っかいてケガをさせてしまう危険性もあります。

衛生的にプール遊びを楽しませるためにもできれば1週間に1回は爪を切るようにしましょう。



園ではムヒパッチのご使用をお控えください！

最近、園内にムヒパッチが剥がれ落ちているときがあり、不衛生と感じる場面が見受けられます。

さらには、貼っていたものが剥がれてしまうとムヒパッチを小さい子どもが誤飲する危険性があります。

また、ムヒパッチの1回の使用は4～5時間を目安とし、同じ場所に長時間の使用はさけ、いったん剥がし、肌を休めて再度貼るといった使用方法が推奨されているそうです。

以上のリスクを考慮し、園ではムヒパッチのご使用は控えて頂きたいのでご協力をお願いいたします。

暑さ対策をしましょう！

子ども達のなかには、活発に活動するため、お風呂上がりのように汗だくになっているお子さんも見られます。少しでも快適に過ごせるように、**涼しい素材の服にしたり、着替えやタオルを多めに準備**して頂けると助かります。

なお、下着を着用しているお子さんがどうしても暑がる時には、下着を脱がせる場合もありますので、ご了承ください。

また、髪が伸びていて、のぼせたり、汗が多く出て処理に困っているお子さんも見受けられます。

涼しく清潔に過ごすために**髪を短めにするか、女の子はきちんと結ぶ**ようにして、**顔周りや首元を涼しくする工夫**をしたいですね。

